

五福地区技術部報告集の刊行に寄せて



富山大学 五福地区技術部長 小熊 規泰

令和3年度「五福地区技術部報告集」の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。日頃は富山大学五福地区技術部の活動に対してご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

これからの日本の社会の姿を見据えて第3期中期中期目標から第4期中期目標・計画の策定に向けて国立大学改革方針が示されました。その概要の中で、「国立大学の機能と役割」では“知識集約型社会において知をリードし、イノベーションを創出する**知と人材の集積拠点としての役割**”ならびに“地域の教育研究拠点として、各地域のポテンシャルを引き出し、**地方創生に貢献する役割**”が掲げられています。

そこで本技術部としては、本学の教育研究をますます強靱に支援することを念頭に置き、活動体制を見直すとともに所有技術の見える化とその発信方法の検討を行いました。まず手始めに本技術部に関する要項を改正し、これまで曖昧であった組織としての目的を明文化しました。具体的には、「技術の継承、技術の連携そしてより高度な技術支援を全学的に行って富山大学における教育研究活動の充実に資する」ことを謳いました。次に、各技術職員が有する資格と技術対応可能な事案が全教職員に分かるデータベースを構築しました。そして、このデータベースの発信によって全学から技術部への技術相談・技術支援の依頼をしやすいようにフローチャートを作成するとともに、この取り組みを本来業務の時間外で時間の許す範囲で行うこととし、また、それぞれの技術職員が配置されている部局の長および教員に詳細に取り組み内容を説明して回り承認を得て、新年度から施行するに至りました。また、様々な技術の融合や新たな技術の創出を志向した取り組みを積極的に実現するために、気軽にテーマアップできる電子掲示板を作成し、希望者のみで学内研修による情報交換や講師招聘によるレベルアップを図るなどフットワークの軽い活動も可能としました。

上述のように、技術職員の持つ高度なスキルを教員や学生のみならず地域へも伝承・還元していく機会をますます増加させ、その発信に努めていただきたく切望いたしております。

末筆になりましたが、この技術部報告集は技術部における技術職員の1年間の技術の結集です。本技術部報告集をご高覧いただき、技術の共有や教育及び研究のご参考となれば幸甚でございます。今後とも五福地区技術部の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。